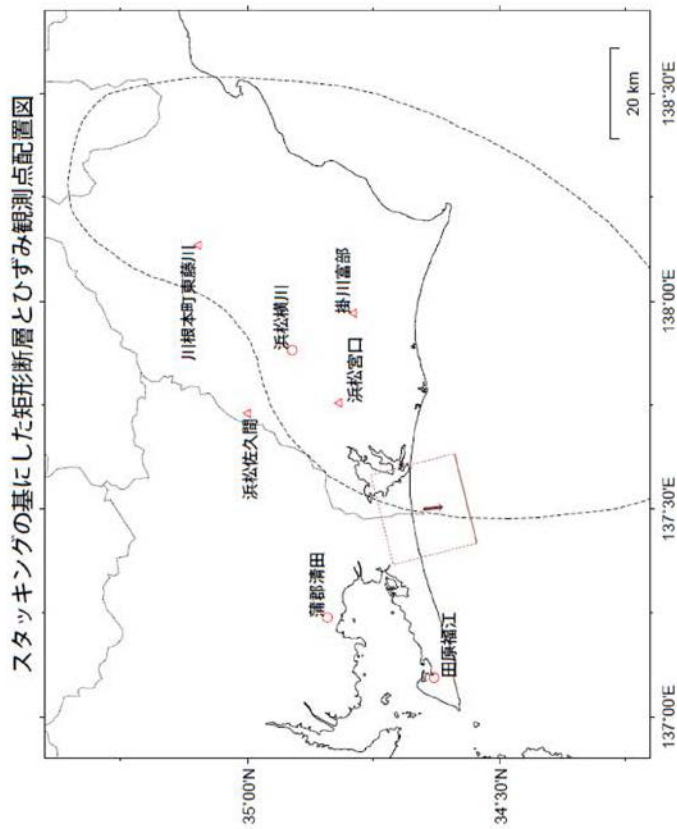
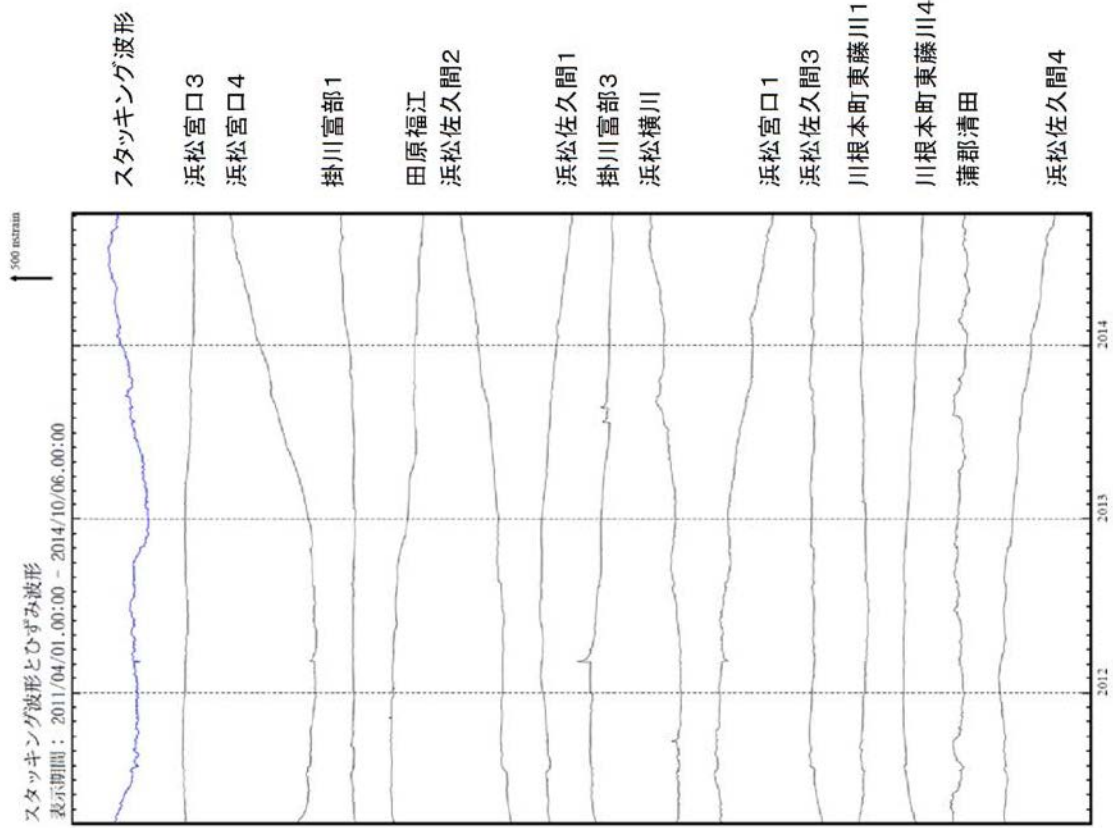


浜名湖周辺に長期的ゆっくりすべりを仮定したスタッキング波形

国土地理院によるすべり推定結果において、大きくすべった領域を矩形で近似し、その矩形断層を基に各観測点のデータをスタッキングした結果が右のグラフである。ノイズは大きいものの、2013年初め頃から伸びの傾向が見える。



(参考文献)
宮岡一樹・横田崇(2012): 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発, 地震, 2, 65, 205-218.



気象庁作成

図5 浜名湖周辺に長期的ゆっくりすべりを仮定したスタッキング波形